

「今後の学校のあるべき姿」に関するアンケート調査（就学前児童）

<アンケートの目的>

本調査は、今後中長期的に児童生徒数が減少していくことが見込まれ、新型コロナウイルス感染症の影響により、少子化が加速する懸念があるとともに、学校施設の老朽化が進んでいく状況下において、子どもたちの保護者が、どのような学校環境での教育を望んでいるかを調査することを目的としています。

<小・中学校児童生徒数の推移と推計>



<小・中学校学級数及び小規模校（～11学級以下）数の推移と推計>



<学校規模の分類と状況>

学校規模別については、文部科学省の分類に基づき、小規模校は11学級以下、適正規模校は12～18学級、大規模校は19学級以上で区分をしています。

下表は、令和4年5月1日時点の学級数で学校規模を分類したものです。

規模	小規模（～11学級）	適正規模（12～18学級）	大規模（19学級～）
小学校	20校	21校	11校
	旭、石巻、老津、大崎、大村、小沢、賀茂、下条、西郷、杉山、嵩山、高根、谷川、玉川、津田、天伯、豊南、細谷、前芝、松山	芦原、東田、磯辺、岩西、植田、大清水、汐田、下地、新川、つつじが丘、中野、野依、八町、花田、羽根井、福岡、富士見、二川、松葉、向山、豊	岩田、牟呂、吉田方、高師、幸、牛川、鷹丘、多米、飯村、栄、二川南
中学校	6校	14校	2校
	石巻、五並、章南、豊城、北部、前芝	青陵、高師台、高豊、中部、東陽、東陵、豊岡、南陽、南稜、羽田、二川、本郷、牟呂、吉田方	東部、南部

<設問>

問1 ご自身のお子さんとの関係をお答えください。

1. 母
2. 父
3. 祖父母
4. 兄弟姉妹
5. その他

問2 ご自身の年齢をお答えください。

1. 20代
2. 30代
3. 40代
4. 50代
5. 60代以上
6. その他

問3 お子さんのご兄弟姉妹の構成についてお答えください。(あてはまるものをすべてお選びください。)

1. 就学前の弟・妹がいる
2. 小学生の兄・姉がいる
3. 中学生の兄・姉がいる
4. 高校生以上の兄・姉がいる
5. 兄弟姉妹はいない

問4 お子さんが通う予定の学校名をお答えください。50音順に並んでいます。

1. 旭小
2. 芦原小
3. 東田小
4. 石巻小
5. 磯辺小
6. 飯村小
7. 岩田小
8. 岩西小
9. 植田小
10. 牛川小
11. 老津小
12. 大崎小
13. 大清水小
14. 大村小
15. 小沢小
16. 賀茂小
17. 下条小
18. 西郷小
19. 栄小
20. 汐田小
21. 下地小
22. 新川小
23. 杉山小
24. 嵩山小
25. 鷹丘小
26. 高師小
27. 高根小
28. 谷川小
29. 玉川小
30. 多米小
31. 津田小
32. つじが丘小
33. 天伯小
34. 豊南小
35. 中野小
36. 野依小
37. 八町小
38. 花田小
39. 羽根井小
40. 福岡小
41. 富士見小
42. 二川小
43. 二川南小
44. 細谷小
45. 前芝小
46. 松葉小
47. 松山小
48. 幸小
49. 向山小
50. 牟呂小
51. 豊小
52. 吉田方小

問5 小学校はどのようなところであるべきだと思いますか。(最もあてはまるものを2つまでお選びください。)

1. 子どもが基礎的な学力を身に付けるところ
2. 子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくところ
3. 子どもが社会のルールやマナーを身に付けるところ
4. 子どもが人間関係を学ぶところ
5. 地域コミュニティの核となるところ
6. 避難所や体育施設としての機能のあるところ
7. その他 ()

問6 豊橋市では特色ある学校づくりに力を入れていますが、どのような特色ある教育をお子さんに受けさせたいですか。(最もあてはまるものを2つまでお選びください。)

1. ICT教育
2. 英語教育
3. スポーツ
4. 音楽等の芸術
5. トップレベルの学力
6. 体験を重視した教育
7. 多様性を重視した教育
8. 地域と連携した教育
9. その他 ()

問7 コロナ禍において学校での体験活動が減少し、体験をとおして学ぶ機会が制限されています。新型コロナウイルス感染症の感染状況が改善した場合において、今後、学校においてどのような体験活動が実施されることを期待されますか。(最もあてはまるものを2つまでお選びください。)

1. 自然に関わる体験活動
2. 農業に関わる体験活動
3. 商業に関わる体験活動
4. 文化や芸術に関わる体験活動
5. 社会奉仕に関わる体験活動
6. その他 ()

問8 1学級の児童数と1学年の学級数について、適正だと思う数をお答えください。(最もあてはまるもの1つお選びください。)

※学級の人数について、令和4年度は、小1年～4年は35人学級、小5年～6年は40人学級が基準となっています。

(1) 学級について

1. 20人以下
2. 21人以上35人以下
3. 36人以上40人以内
4. その他 ()

(2) 学年について

1. 1学級
2. 2学級
3. 3学級
4. 4学級以上

問9 「小・中学校児童生徒数の推移と推計」のグラフでお示したように、今後、さらに児童生徒数の減少が見込まれる中で、小規模校対策（例えば学校の統合）は必要だと思いますか。

1. 必要 2. どちらかという必要 3. どちらかという不要 4. 不要

問10 問9で「1. 必要」または「2. どちらかという必要」と回答された方にお伺いします。小規模校対策はなぜ必要だと思いますか。（最もあてはまるもの2つまでお選びください。）

1. クラス替えができない
2. 集団活動・行事に支障が出る
3. 学校の教職員数が少なくなる
4. コミュニケーション能力を身に付けにくい
5. PTA活動等で、保護者の負担が大きい
6. 児童生徒数の減少が見込まれる中で、今のままの規模で学校施設を維持していくことは財政的に困難である
7. その他（ ）

問11 問9で「3. どちらかという不要」または「4. 不要」と回答された方にお伺いします。小規模校対策はなぜ不要だと思いますか。（最もあてはまるもの2つまでお選びください。）

1. 子ども一人一人に目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる
2. クラス内の仲間意識が生まれやすい
3. 子ども一人一人が活躍する機会が多い
4. 異学年間の交流が生まれやすい
5. 運動場や体育館、特別教室などが余裕を持って使える
6. その他（ ）

問12 全員にお尋ねします。児童生徒数が将来さらに減少し、お子さんが通われる予定の小学校が別の学校と統合し新たな学校になると仮定した場合、どのような環境が整っていれば、新たな学校になってもよいですか。（最もあてはまるもの2つまでお選びください。）

1. 1学級あたりの人数を今の基準よりも少なくするなど、子ども一人一人に目が行き届いたきめ細かな教育を受けることができる。
2. 安全な通学路や通学手段（スクールバスなど）が確保されている。
3. 充実した特色ある教育（例えば問6の特色ある教育）を受けることができる。
4. 学校施設等の学習環境が充実している。
5. 放課後を安全・安心に過ごすことができ、多彩な体験活動が展開されている。
6. 今後さらに児童生徒数が減少したとしても、通う予定の学校のままだい。
7. その他（ ）

問 15 自由記述

どのような学校環境での教育を望まれているのか、保護者の皆様のご意見があれば、お聞かせください。